2019.4.25発行

TOYOTA TECHNICAL COLLEGE NAGOYA SINCE 1961

Challenge Road

学校法人 トヨタ名古屋整備学園
専門学校 トヨタ名古屋自動車大学校
〒452-8567　愛知県清須市春日一番割1番地
TEL：052-400-3611　FAX：052-400-3615
学校新聞編集局 発行責任者　永田　進
URL http://www.toyota-tcn.ac.jp　E-mail dosokai@toyota-tcn.ac.jp

Vol.21

トヨタ名古屋整備学園 ～平成とともに振り返る～

1990年（平成2年）
春日センターへ移転

1991年（平成3年）
海外研修はじまる
同窓会が発足

1992年（平成4年）
オカナガンカレッジへのカナダ留学始まる

1997年（平成9年）
学生寮ぴっといん21が完成

1998年（平成10年）
第1回学園祭を開催

1999年（平成11年）
学校ホームページを開設

2001年（平成13年）
学生会館4号館が完成

2002年（平成14年）
自動車研究科後の
高度自動車科を新設
初めて中国留学生が入学

2004年（平成16年）
トヨタ名古屋整備専門学校に改称

2005年（平成17年）
総合技術棟5号館が完成

2006年（平成18年）
川嶋あいさんと
タイアップ

2007年（平成19年）
トヨタ名古屋自動車大学校
へ改称
保健室にカウンセリング
ルームを開設

2008年（平成20年）
Vitzレースに
初参加

2009年（平成21年）
リクルートセンターiが完成

2011年（平成23年）
女性ショールームスタッフ科開設
中国で同窓会が発足

2012年（平成24年）
車体整備専攻科を開設

2016年（平成28年）
コンシェルジュ・ラボが完成

2018年（平成30年）
多目的なテストコースが完成

平成30年（2018年）入学式

4月10日入学式が行われ、新入生として411名が入学し、各学科では自動車整備科276名、高度自動車科57名、女性ショールームスタッフ科31名、車体整備専攻科47名（うち女性39名、留学生10名）となりました。

なお、高度自動車科3年次編入生として自動車整備科を卒業した25名も加わり、全学年の総数1062名で新学期をスタートすることができました。

式辞で川口浩二校長は「入学された皆さんは57年の歴史ある当校の伝統を後輩に引き継ぐという大切な役割を担うことになる」と述べ、併せて次の「自信を持つ」「学校が何をしてくれるかではなく、この学校で何を学び何を修得するか」「生涯の仲間友人をたくさん作って欲しい」と3つの心得を新入生の学生生活に向けて贈りました。

ご来賓として公職関係の皆様、取引先関係企業様、トヨタグループ関係企業様合わせて199名のご出席を賜りました。ご来賓代表として国土交通省中部運輸局自動車技術安全部長永井啓文様とトヨタ自動車株式会社専務役員佐藤和弘様にご祝辞をいただきました。

海外研修

自動車整備科2年生を対象に行われる海外研修は5月27日～6月5日の間で実施され、アメリカ研修は例年同様に西海岸コースと東海岸コースの選択で行われました。

西海岸コースへ145名が参加し、見学先はFINDLAY TOYOTA、ピーターソン自動車博物館、Chaffey collegeを訪れ、観光先はユニバーサルスタジオ、ラスベガス、グランドキャニオン、ロサンゼルスと大いにアメリカを満喫しました。

東海岸コースでは47名が参加し、トヨタテクニカルセンター、フォードルージュ工場、ヘンリーフォード博物館などを見学し、観光地ナイアガラの滝、デイトナUSA、ケネディ宇宙センター、フロリダ湿原などを訪れました。

今年度新たに中国コースが加わり25名が参加、自動車産業の発展がめざましい大都市・上海や歴史のある万里の長城などを訪問しました。また、北京では博瑞レクサス、豊田紡織廠記念館などを見学し中国の発展を目のあたりにしました。

高度自動車科では、4年生を対象にしたヨーロッパ研修が行われており、63名が参加しました。ドイツではメルセデスベンツEクラス組み立て工場を見学、ベルトコンベアを使用せずマシン移動によるボデー組み立てラインに学生達は感心。その後、ケルン市内観光TMG視察と続きトヨタのモータースポーツに関する積極的な取り組みと技術力の高さに感動した様子です。

ベルギーでは、今回初めてEU議会を訪問し、普段見ることができない議会中の様子を見学など日本人学生では初めての議会訪問となり貴重な体験をしました。フランスではパリ市内を観光し、モンマルトルの丘（サクレクール寺院）、ルーブル美術館、ヴェルサイユ宮殿など歴史的建造物などを観て回りました。

カナダ留学

夏休み（7/25～8/26）を利用して、美しい自然環境に恵まれ、治安も良いカナダへ1ヵ月間留学。英会話または板金塗装のいずれかのプログラムを選択しホームステイをしながら語学や板金塗装の基礎を学びます。

今年は、英会話プログラム34名、板金塗装プログラム33名が各々参加し1992年から始まったカナダ留学制度の経験者は1167名を数えました。

NASCAR研修

アメリカで行われるNASCAR研修は毎年トヨタ3校から2名ずつ選出され、計6名の学生が参加し、マシンの製作からレース当日のタイヤ交換など様々な作業を「英語」でコミュニケーションを取り優勝目指してチームをサポートするもので、今年は7/15～7/30の間で行われました。

サスペンションのセッティングやタイヤ組み替え作業の練習を重ねどんどんスピードアップを計り、学生達が考えたデザインでホワイトボデーにラッピングを施したり、アライメント調整や重量バランスのチェックを行うなどレースに向けて研鑽を重ねます。

レース本番では8位でフィニッシュ! 学生達の動きは素晴らしく有意義な2週間となりました。

スーパーGTメカ体験

5月18～20日鈴鹿サーキットにてスーパーGTメカ体験をしました。トムス、セルモ、APR、スバルの各チームに当校2・3年生の10名がメカニックとして参加し、普段では体験できない作業やレース車両に触れ、チームの一員となってレース参加するなど、貴重な体験ができました。

WEC観戦ツアー

10月13日、14日恒例の富士スピードウェイWEC観戦ツアーに行きました。

今回、トヨタ1・2位という素晴らしいレースで表彰式も間近で観ることができ優勝セレモニーに参加者皆が感動しました。また、ホームストレートにも入場が許可され実際にマシンが走った本コースに入ることができました。

12月に行われる中嶋一貴さんの講演会が非常に楽しみです!!

ヴィッツレース Vitz Race

6月16日、17日ヴィッツレース2018鈴鹿から7月21日、22日ヴィッツレース2018富士、ドリームカップ2018に参戦しました。

6月16日、17日ヴィッツレース関西シリーズ第3戦(鈴鹿)では56台中27位。

7月21日、22日ヴィッツレース富士シリーズ第3戦では81台エントリーの中32位でフィニッシュ。

日本初のナンバー付き競技車両によるJAF公認6時間耐久レースとして12月16日ドリームカップ2018が富士スピードウェイで開催され、高橋・小川先生両名とヴィッツレース部の学生達の頑張りで、15位スタートからぐいぐい順位を上げ見事32台中6位入賞という良い結果を残すことができました。これも普段のスプリントレースに比べ給油やタイヤ交換、燃費計算など学生達の活躍できる場面も多く、大いに頑張ってくれたお陰です。

第16回全日本学生フォーミュラ大会

9月4～8日の5日間、静岡県エコパスタジアムで第16回学生フォーミュラ大会が開催されました。今年もICV(ガソリン車)とEVの2台でエントリーしました。台風や雨で悪天候の中、ICVは残念ながらリタイア、EVは完走と2台完走とはなりませんでしたが、精一杯努力をして最後には学生達は晴々とした様子で、1年間の活動が有意義なものだったのではと感じました。

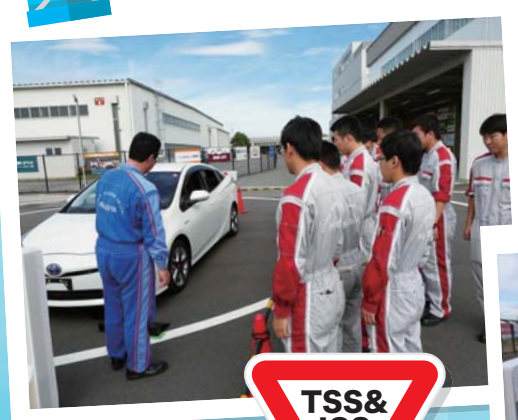
最終順位は参加98台中、EVは49位、ICVは53位となりました。OB含め現地に応援に来ていただいた皆さん、ありがとうございました。

Formula SAE Japan

TSS&ICS授業スタート!!

追突事故の9割は軽減できると言われているTSS(トヨタセーフティセンス)およびICS(インテリジェントクリアランスソナー)の授業がいよいよテストコースと校内を使って開始されました。

この授業はライセンス保有者しか実施できないため、おそらく日本で初の試みであると思われます。学生達もホントに停まるのかドキドキの授業でした。



TSS&ICS

トヨタスポーツ800講演会

「ヨタハチと私」というタイトルで杉山泰成様(トヨタ東京自動車大学校前校長)の講演会を実施しました。トヨタモータスポーツオーナーズ協議会の杉山様は愛車であるヨタハチについて熱く語っていただき、聴講した車体整備専攻科の学生達はワクワクしながら聴き入っていました。

講演会後には試乗会も催され、当日は元同窓会長の原島様もカルマンギヤをお持ち頂きましたので2台での試乗会となりました。杉山様、原島様ありがとうございました。

第1回トヨタ3校整備コンテスト開催!

11月18日、トヨタ自動車(株)多治見サービスセンターにて「第1回トヨタ3校整備コンテスト」が開催されました。昨年までの「トヨタ3校プリウスカップ」に代わり、今回から東京校・名古屋校・神戸校より各3チームずつ計9チームが計測部門と点検部門に分かれ「正確で安全な作業」で熱い競技が繰りひろげられました。

結果は1位神戸校、2位名古屋校、3位神戸校となり各校学生同士の交流の場となりました。また、この結果の報告会が夏のNASCAR研修と合わせて12月15日当校アリーナで発表されました。彼らの努力や次年度に繋げる思いが伝わってきました。皆さんお疲れさまでした。

卒業式

3月20日 平成31年卒業式が挙行されました。トヨタ販売会社様をはじめ官庁公職関係様、トヨタ関連企業様、お取引先会社様合わせて229名のご来賓の臨席を賜りました。

卒業生は、高度自動車科131名、車体整備専攻科45名、自動車整備科281名、女性ショールームスタッフ科25名、計482名が学舎を旅立ちました。

ご来賓祝辞

トヨタカローラ愛豊株式会社　代表取締役
寺町 一憲 様

日々研鑽を積んでいき様々な経験を経てどんな変化にも対応できるプロフェッショナルな仕事人になってください。

国土交通省中部運輸局自動車技術安全部長
永井 啓文 様

学校で習得した知識をもとに新たな環境のもとで活躍していくことを期待しています。

同窓会会長（愛知トヨタ株式会社）
杉浦　豪 様

明るさと素直さを持ち続け自分に与えられた仕事を粘り強くやり続けファンを1人でも多く増やして欲しい。

トヨタ自動車株式会社　専務役員
佐藤 和弘 様

3S精神でお客様から信頼が得られるお客様視点に立った働き方と学生生活を共にした仲間との絆を大切に自信を持ってオールトヨタで共に頑張りましょう。

校長式辞
川口 浩二

次の2つ「常に他責ではなく自責の姿勢を大切に」「石の上にも3年」と贈り、世界に一つだけの花の一説を引用し餞としました。

原 寛暁先生ご退任

3月29日永年勤められた原先生が退任されました。1974年の入社以来、教育部を33年間、総務部を12年間、計45年間勤めあげられました。教育部では教科担任、学年リーダー、部長代理を歴任され総務部では部長代理をはじめ渉外関係に精通されました。

お疲れさまでした。どうぞいつまでもお元気で!

中嶋一貴選手講演会

12月14日中嶋一貴選手を招いてトークショーを開催しました。今回は、世界3大レースのル・マン優勝を振り返りモータースポーツの魅力を伝えていただきました。最後には毎年恒例のグランツーリスモゲームで白熱したバトルを繰り広げました。

中嶋選手ありがとうございました。

卒業前のキャリア講演会

「社会人の心構え」と題して3月5日卒業学年の学生を対象にネッツトヨタ中部（株）常務取締役 掛布敏章様にご講演をいただきました。

「お客様を味方に!」社会人になると色々と悩むこともありますが、掛布様の言葉を思い出して頑張っていきましょう!

ありがとうございました。

女性ショールームスタッフ科フラワーアレンジメント授業

1年生は、本年2回目のフラワーアレンジメント授業で生花のアレンジメントに挑戦、店舗の装飾などに役立てるスキルを身につけられるように季節感のある植物を選び実施しました。

中国留学生同窓会

11月2日教育部中村部長、松田先生2名は中国を訪問。第2回中国留学生同窓会がおこなわれました。2004年卒李楠さん、2006年卒劉軍さんをはじめ北京から16名に出席いただきました。留学生の皆さんは、中国のトヨタサービスの要となり大いに活躍している様子。

今年から中国への海外研修が加わり留学生との距離が一段と近くなりました。

クラブ活動

10月21日刈谷市体育館で第9回オールトヨタ剣道大会が行われました。トヨタ自動車関連企業・トヨタ販売会社など強豪43チームが出場する本大会に当校から2名が個人戦で出場しました。

1名は2回戦に進むも長い延長の末、惨敗しました。残念!!

次回は是非とも頑張りましょう!

剣道部

12月22日（土）、23（日）に鹿児島県伊集院総合体育館にて第5回全国専門学校バレーボール選抜大会が行われました。代表選手が東海選抜として出場し、チーム力で8年ぶりの準優勝ができました。

選手の皆さんお疲れさまでした。

バレーボール部

第12回トヨタ3校親善試合が12月1日北野公園野球場(東京都八王子市)で行われました。

名古屋校　4　V.S　0　東京校
名古屋校　1　V.S　0　神戸校

神戸校戦では投手戦の中、サヨナラホームランで勝利、投手陣も2試合完封し、第12回大会を優勝で飾りました。やったーぁ!

野球部

新教材車導入

13年ぶりのモデルチェンジとなった「新型ハイラックス」を教材として導入、思ったより大きいと学生達も大喜び。直噴ターボや電動パーキングブレーキなど新機構も一杯の「C-HR」、さらに「アクア」を一気に10台導入して当校のハイブリッド車は46台となりました。

ご意見・ご感想・投稿記事などございましたら、学校新聞編集局までご連絡ください。
dosokai@toyota-tcn.ac.jp

環境保全のために、再生紙を使用しています。